



ムラ

カシ

村檜の しっくい



創業安政元年
村檜石灰工業株式会社



ものづくりの伝統を守り、
古来からの技術を今に伝えます





村檜のしっくい **[上塗り]**

コテ押さえから磨きまで抜群の性能を発揮
絶妙のバランスで配合された万能しっくいです

使用方法 混練(標準加水量=1袋当り、約18リットル)
製品仕様 荷姿(20kg紙袋(4層))
標準塗り面積(塗り厚:1.5mm厚→18m²)



村檜のしっくい **【糊増】 [上塗り]**

施工時の幅広いニーズにご対応
標準タイプの約2倍の糊を配合しております

使用方法 混練(標準加水量=1袋当り、約18リットル)
製品仕様 荷姿(20kg紙袋(4層))
標準塗り面積(塗り厚:1.5mm厚→18m²)



村檜のしっくい **【角又混合用】 [上塗り]**

つのまた糊を使用する本格タイプ
熟練者も納得の仕上がりを実現します

使用方法 混練(下記練り方を参照)
製品仕様 荷姿(20kg紙袋(4層))。標準塗り面積(塗り厚:1.5mm厚→2袋で約33m²)

村檜のしっくい【角又混合用】の練り方

2袋に対し**〈つのまた糊〉**1缶を使用します。

まず〈つのまた糊〉を同量の清水で希釈してから、次に〈村檜のしっくい 角又混合用〉2袋を入れ混練してください



村檜の砂しっくい **[中塗り]**

特殊骨材をバランスよく配合
割れにくいのが特長です
内外問わず使用でき、
上塗りとのなじみも良好です

使用方法 混練(標準加水量=1袋当り、約7.5リットル)
製品仕様 荷姿(25kg紙袋(3層))。標準塗り面積(塗り厚:5mm厚→3m²)

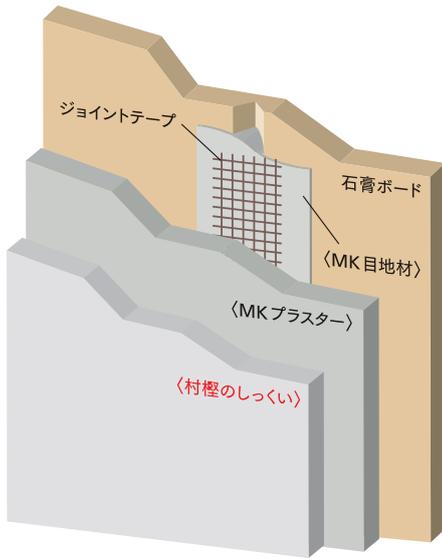


つのまた糊

角又海藻を煮て濾した
100%天然素材のつのまた糊です
塗り壁材の増粘材として
幅広くご使用いただけます

使用方法 混練(標準加水量=1缶当り、約18リットル)
製品仕様 荷姿(18リットル缶)

石膏平ボード下地 施工手順



1 下地処理

目地はあらかじめ〈MK目地材〉で目地埋めをし、乾燥後サンドペーパーで平滑にしてください。
ひび割れ防止のため、継ぎ目にはジョイントテープを貼ってください。

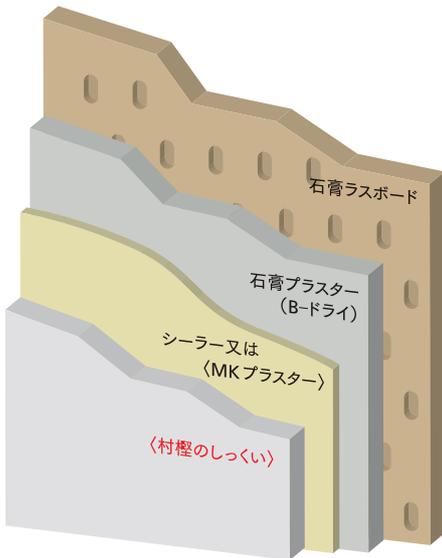
2 下塗り

〈MKプラスター〉を平滑に塗り付けてください(塗厚約1mm)。

3 上塗り

〈MKプラスター〉が十分に硬化乾燥後、〈村檜のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

石膏ラスボード下地 施工手順



1 中塗り

石膏プラスター(B-ドライ)で中塗りします。

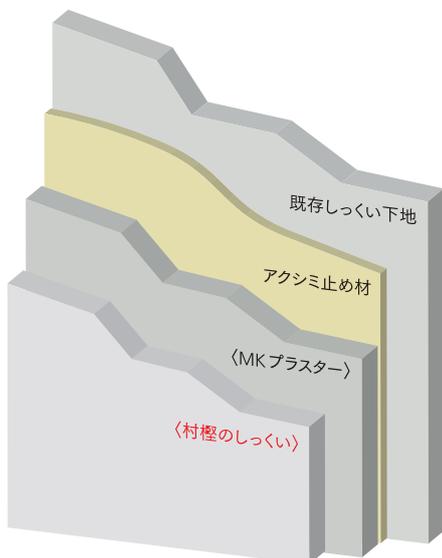
翌日シーラー^{*}を塗布するか又は〈MKプラスター〉をしごき塗りし、十分に硬化乾燥させてください。

2 上塗り

〈村檜のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

※B-ドライ及びシーラーは吉野石膏様の施工要領書に準じて施工してください。

既存しっくい下地(補修) 施工手順



1 下地の確認

既存しっくいの強度を確認してください。

はがれ、浮きを確認してください。

埃、油汚れの有無を確認してください。油汚れがひどい場合には施工を中止してください。

2 事前の下地処理

表面についた埃は、刷毛やブラシで落としてください。刷毛やブラシで取れない埃、油汚れは洗浄してください。

浮いているところはケレンなどで剥がしてください。

アク・シミ汚れが酷い場合は市販のアクシミ止めを所定量塗布し、乾燥させてください。

不陸・クラック等は、硬めに練った〈MKプラスター〉などを用いてあらかじめ補修してください。クラックが発生している場合には、全面に寒冷紗を伏せ込んでください。

3 下塗り

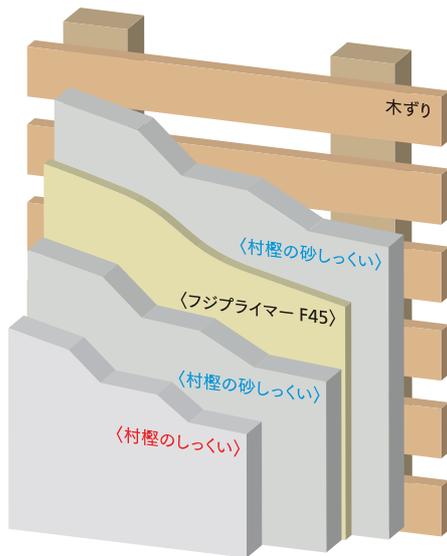
〈MKプラスター〉を平滑に塗り付けてください(塗厚約1mm)。外装施工の際は〈MKプラスター〉に必ず〈外装用添加材〉を混入し、ご使用ください。

4 上塗り

〈MKプラスター〉が十分に硬化乾燥後、〈村檜のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げます(塗厚約1.5mm)。

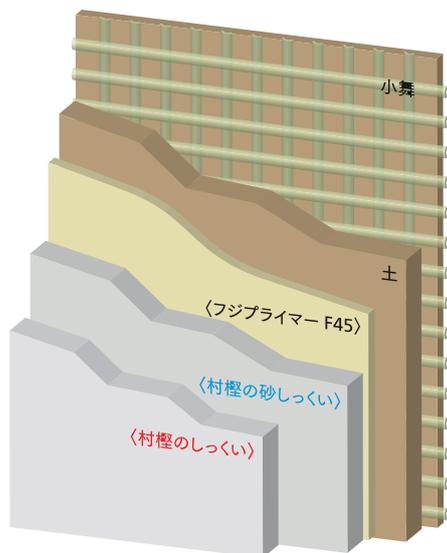
※旧仕上げ材の状況により施工方法が異なります。詳しくは弊社までお問い合わせください。

木ずり(小巾板)下地 施工手順



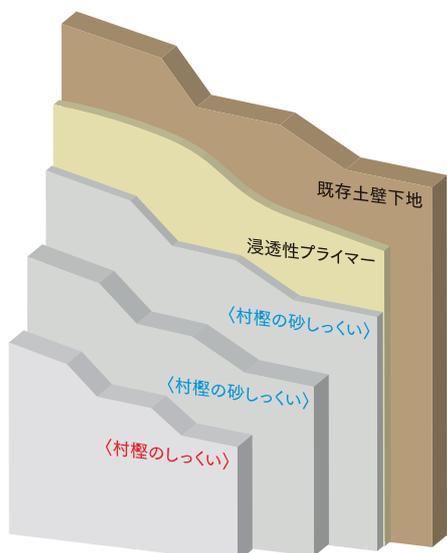
- 1 下塗り**
〈村樫の砂しっくい〉を裏側にはみ出すようにたっぷり塗付けます(8～10mm厚程度)。表面に荒らし目を入れた後、十分乾燥してください(10日以上)。
- 2 中塗り**
下塗りに〈フジプライマー F45〉5倍液を縦横2回塗布し、指触乾燥させます。〈村樫の砂しっくい〉を下付け、上付けで5mm厚程度に塗り付け、水引き具合を見て木ゴテで平滑にしてください。
- 3 上塗り**
翌日以降中塗りが指で押ししても凹まない程度(7分乾きの状態)までしまりましたら、上塗りを施工してください。〈村樫のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

こまい土壁下地 施工手順



- 1 下塗り**
 - ①荒壁塗り
荒壁はこまいに十分すりこんだ後、こまい表面より厚さ12mm内外、ぬき材と同一面に塗り付けます。
 - ②裏なで
荒壁土はこまい裏に十分に突き出させ、同日中にコテでなで返しこまいになじませてください。両面仕上げの場合は、荒壁乾燥後、荒壁土でこまいがかくれる程度に塗り付けます。
- 2 ちりしっくい むら直し**
荒壁土が乾燥後、入隅、出隅、ちり回りなどクラックの出やすい箇所には、ネット、のれん、ひげこを伏せ込み、ちり土あるいは、ちりしっくいを塗り付けます。むら直しは、ちり土、ちりしっく이가十分乾燥した後、むら直し土を付け送って行ってください。
- 3 中塗り**
下塗りに〈フジプライマー F45〉5倍液を縦横2回塗布し、指触乾燥させます。〈村樫の砂しっくい〉を下付け、上付けで5mm厚程度に塗り付け、水引き具合を見て木ゴテで平滑にしてください。
- 4 上塗り**
翌日以降中塗りが指で押ししても凹まない程度(7分乾きの状態)までしまりましたら、上塗りを施工してください。〈村樫のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

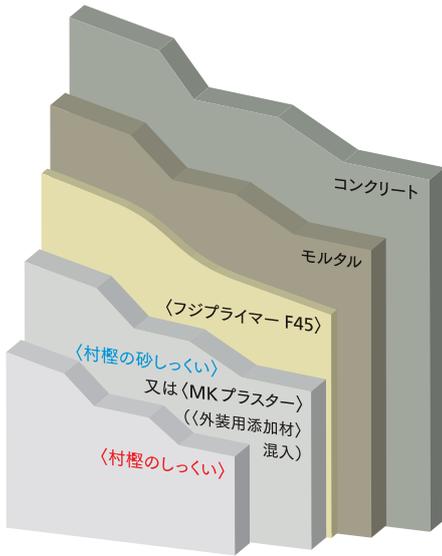
土壁下地(補修) 施工手順



- 1 風化した土壁の除去**
風化した土壁を落とせる部分まで落としてください。
- 2 下地の補強**
露出した土壁に浸透性プライマーをたっぷり塗布・浸透させ、乾燥した状態でしっかり補強できているか確認してください(強度不足の場合は、もう一度1から)。
- 3 亀裂の処置**
亀裂の入っている箇所はネットを張り、〈MK plaster〉で伏せ込んでください。
- 4 不陸調整塗り**
〈村樫の砂しっくい〉を下付け、上付けの2回塗りで5mm厚を限度とし所定の厚さまで塗り重ね、荒らし目を入れ十分乾燥させてください。
- 5 中塗り**
下塗りに〈フジプライマー F45〉5倍液を縦横2回塗布し、指触乾燥させます。〈村樫の砂しっくい〉を下付け、上付けで5mm厚程度に塗り付け、水引き具合を見て木ゴテで平滑にしてください。
- 6 上塗り**
翌日以降中塗りが指で押ししても凹まない程度(7分乾きの状態)までしまりましたら、上塗りを施工してください。〈村樫のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

※古壁の状況により施工方法が異なります。詳しくは弊社までお問い合わせください。

コンクリート下地 施工手順



1 下塗り

サンドモルタル又は市販の補修材などで下塗りしてください。
不陸がある場合は平滑にしてください。

2 中塗り

①施工する前に急激な吸水を防止する為あらかじめシーラー処理を施してください(フジプライマー F45) 5倍液を縦横2回塗布し、指触乾燥させます。

〈村樫の砂しっくい〉を下付、上付けの2回塗りで5mm厚程度に塗り付け、水引き具合を見て木ゴテで平滑にしてください。

②又は〈MK プラスター〉に〈外装用添加材〉を入れ、平滑に塗り付けてください(塗厚約1mm)。

3 上塗り

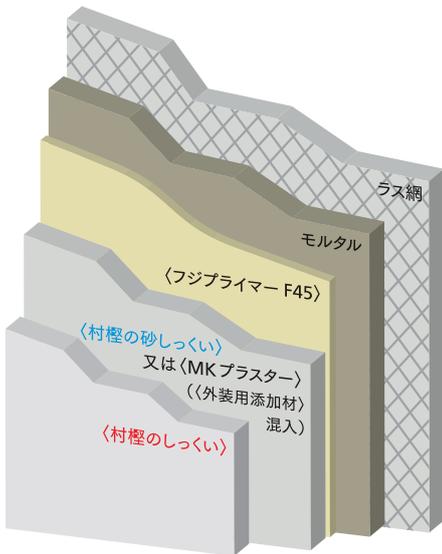
①〈村樫の砂しっくい〉下地の場合

翌日以降中塗りが指で押しても凹まない程度(7分乾きの状態)までしまりましたら、上塗りを施工してください。〈村樫のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

②〈MK プラスター〉下地の場合

〈MK プラスター〉が十分に硬化乾燥後、〈村樫のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

ラス張り下地 施工手順



1 下塗り

〈プレモルL〉を十分コテ圧をかけ、ラス網に(8mm厚程度)こすり塗ります。
下塗りが硬化後、〈プレモルL〉を上塗りし直ちにネットを貼り付け、ネットの浮きがなくなるようにコテでなじませ、平坦に押さえてください(計15mm厚以上)。
水打ちし、2週間以上養生してください。

2 中塗り

①施工する前に急激な吸水を防止する為あらかじめシーラー処理を施してください(フジプライマー F45) 5倍液を縦横2回塗布し、指触乾燥させます。

〈村樫の砂しっくい〉を下付、上付けの2回塗りで5mm厚程度に塗り付け、水引き具合を見て木ゴテで平滑にしてください。

②又は〈MK プラスター〉に〈外装用添加材〉を入れ、平滑に塗り付けてください(塗厚約1mm)。

3 上塗り

①〈村樫の砂しっくい〉下地の場合

翌日以降中塗りが指で押しても凹まない程度(7分乾きの状態)までしまりましたら、上塗りを施工してください。〈村樫のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

②〈MK プラスター〉下地の場合

〈MK プラスター〉が十分に硬化乾燥後、〈村樫のしっくい〉を下付け、上付けで塗り付け、水引き具合を見て仕上げてください(塗厚約1.5mm)。

注意事項

[はじめに]

- 気温が5℃以下になる場合は施工を中止してください。併せて施工翌日の最低気温が0℃以下になる場合も同様にご注意ください。
- 石膏ボード(木造下地)の施工は、JASS15左官工事3.9に規定された施工方法に準じてください。
- 下地材の継ぎ目には必ず受け木(支持材)があることを確認してください。
- GL工法はボードジョイント部に亀裂が入る場合がありますので、お薦め致しません。

[養生の注意]

- 赤身の木材はアクが発生しやすい為マスキングテープなどで養生することをお薦め致します。
- 施工中、施工後は直射日光や強風が当たらないように養生してください。

[施工、施工後の注意]

- 石膏ボードへ〈村樫のしっくい〉を直接施工されますと剥離する可能性がありますので、直接施工は推奨しておりません。
- 施工後はできるだけ通風に配慮し、自然乾燥を行ってください。
- 直接雨が掛かったり、常に湿潤状態が続く場所へ〈村樫のしっくい〉を施工されますと、汚れやカビが発生する可能性があります。
- しっくいを施工した部屋でお線香をたいたり、石油ストーブを使用されますと、しっくい面が黄色く色がつく可能性があります。

[ワンポイント]

- 〈村樫のしっくい〉を施工前日より練り置きますと、更に作業性が良くなります。

温 故 知 新





創業安政元年
村櫛石灰工業株式会社

〈特約代理店〉

〈建材事業部〉

〒327-0509 栃木県佐野市宮下町1-10
tel 0283-86-3677 fax 0283-86-4118
kenzai@murakashi.co.jp
<http://www.murakashi.co.jp>

村櫛しっくい
channel
 YouTube

